

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成 25 年〇月〇日 (〇) 〇校時
 対 象 第2学年 〇組 〇〇名
 学校名 〇〇立〇〇小学校
 授業者 〇〇 〇〇

1 単元名 本のせかいを楽しむ

教材名 「ないた赤おに」「『お話びじゅつかん』を作ろう」(教育出版 2年下)

2 単元の目標

- ・登場人物の気持ちの変化を、想像を広げながら読むとともに、楽しんで読書し、自分の好きな本について紹介することができる。

3 単元の評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
単元 の 評 価 規 準	○登場人物の行動や場面の展開について、想像を広げながら読もうとしている。 ○好きなところを紹介するために、本を選びながら楽しんで読書しようとしている。	○登場人物の行動や会話に着目し、気持ちや行動の変化を捉えながら想像を広げて読んでいる。 ○好きな物語を読み、紹介したい本や文章を選んでいる。	○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いて、文や文章を読んでいる。 ○主語と述語との関係に注意して、文や文章を読んでいる。
学習 活動 に 即 した 具 体 的 な 評 価 規 準	①登場人物の行動や場面の展開について想像を広げながら読もうとしている。 ②「お話びじゅつかん」の作品をつくるために、本を選びながら楽しんで読書しようとしている。	①登場人物の行動や会話に着目し、心情曲線や吹き出しに書き込んだことを基に想像を広げて読んでいる。 ②好きな物語をたくさん読み、その中から好きな本を選んで、絵に描いたり文に表したりして、紹介している。	①感想を表す言葉には、様々なものがあることを知り、紹介する際に用いている。 ②主語と述語との関係に注意して、登場人物の気持ちや様子を読んでいる。

4 単元について

(1) 単元観

小学校学習指導要領には次のように記されている。

C 読むこと

(1) 読むことのできる能力を育てるため、次の事項を指導する。

イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。

カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。

オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(カ) 文の中における主語と述語との関係に注意して文や文章を読んでいる。

本単元は、「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」「楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと」を主なねらいとしている。これまでに児童は、9月に「きつねのおきゃくさま」の学習で、ひよこやあひるやうさぎに対するきつねの気持ちの変化に気付きながら読んだり、11月の「わにのおじいさんのたからもの」では、おにの子とわにのおじいさんとの心のつながりを読んだりしてきた。本教材では、時間的な順序や事柄の順序などに気を付けながら、赤おにや青おに、村人たちの行動を読み、そこから、その時のそれぞれの人物の気持ちを読み取ることができる。また、登場人物が他の人物とのつながりで気持ちや行動が変化していくことを捉えることができる。どのようなことがきっかけで、どのように変わったのかを考えさせ、読み取らせていきたい。

また、「ないた赤おに」の後には、「『お話びじゅつかん』を作ろう」という読書活動を位置付けている。自分が読んだ本の中で、気に入った場面や心に残った場面を絵に表し、その絵に題名を付けて紹介する活動を行う。児童は、9月に本を読んだ感想を感想文で表すことは経験している。文章で書くだけでなく、絵で表現することも自分の感想を残すことであることを学ばせ、自分の思いが分かりやすく伝わるように工夫して学習させたい。また、自分のかいた絵に題名を付ける活動は、その場面を短い言葉で端的に表現することが大切になる。あらすじを捉える上で大切な学習活動としたい。こうした学習活動を経験しながら、読書に対しての抵抗感をなくし、さらに進んで読書をしようとする態度を育てていきたい。

(2) 教材観

本教材は、中心人物である赤おにの心が、他の登場人物との関わりを通して大きく変わっていく物語である。読み手である児童にとっては、人間と友達になりたい赤おにの気持ちも、それを手助けしたい青おにの気持ちも理解しやすいと考える。最後の場面では、村人たちと友達になれて嬉しいにもかかわらず、青おにの手紙を読んで涙を流したところで終わっている。作品の中で赤おにの気持ちが大きく変化したことが分かりやすく表現されている。また、叙述に基づいて気持ちを想像させる手だてとして心情曲線を活用する。児童にとっては初めての活動となるが、表現の仕方を指導しながら気持ちの変化をしっかりと読み取らせていきたい。また、気持ちの変化だけでなく、友達の青おにとの心のつながりを読み取りながら、気持ちの根拠となるところを考えさせながら読みを深めていきたい。

5 単元の指導計画と評価計画 (13 時間扱い)

時	ねらい	学習活動	評価規準 (評価方法)
一次 1	全文を読み、学習の見通しをもつことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 題名を知り、どんな話なのか想像する。 2 全文を音読する。 3 心に残った場面について感想を書く。 4 書いた感想を紹介し合う。 5 初発の感想から学習計画を立てる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①【関】登場人物の行動や場面の展開について想像を広げながら読もうとしている。(行動観察・発言・ワークシート) ②【言】主語と述語との関係に注意して登場人物の気持ちや様子を読んでいる。(ワークシート)
二次 2	第1場面を読み、赤おにがどのようなおになのかを読み取ることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時のめあてを確認する。 2 第1場面を音読する。 3 赤おにの気持ちや性格を読む。 4 本時の振り返りをする。 	①【読】登場人物の行動や会話に着目し、赤おにの気持ちや性格について想像を広げて読んでいる。(発言・ワークシート)
3	第2場面から木こりの様子を見ていた赤おにの気持ちを読み取ることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時のめあてを確認する。 2 第2場面を音読する。 3 赤おにの気持ちの変化について考える。 4 木こりの様子を見ていた赤おにの気持ちを想像する。 5 本時の振り返りをする。 	①【読】登場人物の行動や会話に着目し、心情曲線や吹き出しに書きながら、想像を広げて読んでいる。(発言・ワークシート)
4 (本時)	第3場面から赤おにの気持ちの変化や青おにの性格、気持ちを読み取ることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時のめあてを確認する。 2 第3場面を音読する。 3 赤おにの気持ちの変化について考える。 4 青おにの性格や赤おにの様子を見たときの気持ちを想像する。 5 本時の振り返りをする。 	①【読】登場人物の行動や会話に着目し、心情曲線や吹き出しに書きながら、想像を広げて読んでいる。(発言・ワークシート)
5	第4場面を読み、赤おにや青おにの様子、気持ちを想像することができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時のめあてを確認する。 2 第4場面を音読する。 3 ふもとの村であばれる青おにの様子や気持ちを想像する。 4 青おにの話聞いて、そのとおりにする赤おにの気持ちを想像する。 5 本時の振り返りをする。 	①【読】登場人物の行動や会話に着目し、心情曲線や吹き出しに書きながら想像を広げて読んでいる。(発言・ワークシート)
6	第5場面からおにたちや村人たちの様子、気持ちを想像	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時のめあてを確認する。 2 第5場面を音読する。 3 村人たちの前での青おにや赤お 	①【読】登場人物の行動や会話に着目し、心情曲線や吹き出しに書きながら、想像を広げ

	することができる。	<p>にの様子を想像する。</p> <p>4 おにたちの様子を見ていた村人たちの気持ちを想像する。</p> <p>5 本時の振り返りをする。</p>	て読んでいる。(発言・ワークシート)
7	第6場面から青おにの手紙を読んだ赤おにの気持ちを読み取ることができる。	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 第6場面を音読する。</p> <p>3 村人たちと友達になれたときや青おにの手紙を読んだときの赤おにの気持ちを想像する。</p> <p>4 本時の振り返りをする。</p>	①【読】登場人物の行動や会話に着目し、心情曲線や吹き出しに書きながら、想像を広げて読んでいる。(発言・ワークシート)
8	心に残った場面について感想を書き、紹介し合うことができる。	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 赤おにの気持ちが大きく変わったところを確認し、その場面についての感想を書く。</p> <p>3 書いた感想を紹介し合う。</p>	①【関】登場人物の行動や場面の展開について、想像を広げながら読もうとしている。 (行動観察・発言・ワークシート)
三 次	「お話びじゅつかん」についての学習の流れをつかむことができる。	<p>1 「お話びじゅつかん」についての学習の見通しをもつ。</p> <p>2 どのように作品を作ったらよいか確認する。</p> <p>3 読みたい本を探して読書する。</p>	②【関】「お話びじゅつかん」の作品を作るために、本を選びながら楽しんで読書しようとしている。(行動観察) ①【言】感想を表す言葉には、様々なものがあることを知り、紹介する際に用いている。
10	読みたい本を探して、読書することができる。	<p>1 読みたい本を探して読む。</p> <p>2 読みたい本の中で気に入った本を選び、心に残った場面や出来事をメモする。</p>	②【関】「お話びじゅつかん」の作品をつくるために、本を選びながら楽しんで読書しようとしている。(行動観察・ワークシート)
11 12	紹介したい本について、題名を考えながら「お話びじゅつかん」の作品をつくることができる。	<p>1 紹介したい本について「お話びじゅつかん」の作品づくりを行う。</p> <p>2 できた作品に題名を工夫してつける。</p>	②【読】好きな物語をたくさん読み、その中から好きな本を選んで、絵に描いたり文に表したりして紹介している。 (ワークシート)
13	「お話びじゅつかん」で本を紹介し合う。	<p>1 紹介する方法を知り、練習する。</p> <p>2 紹介を聞きながら、読みたいと思った本を選んで、メモをする。</p> <p>3 今後、実際に本を読み、紹介してくれた人に感想カードを届けることを確認する。</p> <p>4 学習の振り返りを行う。</p>	②【読】読んだ本の中から好きな本を選んで、絵に描いたり文に表したりして、紹介している。(行動観察・ワークシート)

6 本時（全 13 時間中の第 4 時間目）

（1）本時のねらい

○赤おにや青おにの様子や気持ちを、心情曲線や吹き出しに書きながら、想像を広げて読むことができる。

（2）本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点・配慮事項	◇評価規準（評価方法）
導入 5 分	1 本時のめあてを確認する。	○前時までの学習を振り返り、本時の学習のめあてと流れを確認する。	
	とう場人ぶつとのかかわりを考えながら、赤おにの気持ちのへんかを読みとろう		
展開 3 5 分	2 第 3 場面を音読する。 3 個人で音読しながら、赤おにの気持ちを考え、気持ちの変化を心情曲線に表す。 4 考えたことをペアで発表し合う。 5 赤おにの気持ちの変化を全体で確認する。	○赤おにの気持ちの変化について意識しながら読ませる。 ○気持ちが分かる行動や言葉にサイドラインを引かせる。 ○叙述を根拠に考えさせ、変化した理由も書かせる。 ○気持ちが変わった時を確認する。 ＊木こりが逃げていった時 ・だんだん怒りが強くなってきていることを捉えさせる。 （＊青おにに声を掛けられたとき時）	◇【読】赤おにの気持ちの変化を心情曲線に書きながら想像を広げて読んでいる。 （ワークシート）
	6 青おには、どんなおになのかを考える。 7 赤おにの様子を見たときの青おにの気持ちを、吹き出しに書き、グループで確認する。 8 グループでの交流を基に全体で確認する。	○青おにの行動から考えさせる。 ○青おにの性格や二人の関係を踏まえながら書かせる。 ・赤おにの気持ちの変化につなげる。	◇【読】青おにの行動や会話に着目し、青おにの気持ちを吹き出しに書いている。 （ワークシート・発言）
まとめ 5 分	9 学習のまとめをする。	○ワークシートにふり返りを書かせる。 ○本時の場面を音読する。	

(3) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>青おには、 どんなおになのだろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>赤おにのようすを見た 赤おにの気持ち</p> </div>		<p>本のせかいを楽しむ ないた赤おに はまだ ひろすけ</p> <p>どう場人ぶつとのかかわりを考えながら、 赤おにの気持ちのへんかを読みとろう</p>
---	--	---

(4) 発問・指示計画

	学習活動	発問・指示・説明
5分	1 本時のめあてを確認する。	1 前は、第2場面について読み取りました。木こりに信じてもらえない赤おにの悲しい気持ちが読み取れた場面でしたね。今日は第3場面です。めあてを確認しましょう。
展開 3分 5分	2 第3場面を音読する。	2 では、第3場面を音読しましょう。赤おにの気持ちの変化を意識しながら読みましょう。
	3 赤おにの気持ちを考え、気持ちの変化を心情曲線に表す。(一人読み：鉛筆)	3 気持ちが分かる行動や言葉に線を引きましょう。その後、線を引いたところを基に赤おにの気持ちがどのように変化したのか、鉛筆で心情曲線に表しましょう。変わったところの説明も入れましょう。
	4 考えたことを、ペアで発表し合う。	4 書いたことを隣の人と発表し合いましょう。
	5 赤おにの気持ちの変化を、全体で確認する。	5-1 赤おにの気持ちはどのように変化しましたか。 5-2 発表してくれた考えを生かすと、このようなまとめになりそうですね。
	6 青おには、どんなおになのかを考える。	6 青おにが遊びに来たことで、気持ちが変わったと考える意見がありました。青おにはどんなおにだと分かりますか。
	7 赤おにの様子を見たときの青おにの気持ちを吹き出しに書き、グループで確認する。	7-1 今の読みを生かして、赤おにの様子を見た時の青おにの気持ちを吹き出しに書きましょう。 7-2 グループで発表し合いましょう。司会から発表してください。よいと思った友達の考えを青で付け足しましょう。

	8 グループでの交流を基に全体で確認する。	8 グループの他の人の意見を生かしながら、全体で確認しましょう。
5分	9 学習のまとめをする。	<p>9-1 本時を振り返りましょう。</p> <p>9-2 第3場面では、木こりに逃げられてくやしくなったところ、自分のことを理解してくれている青おにに声を掛けられて心が少しほっとしたところに気持ちの変化がありました。</p> <p>9-3 今度の時間では、第4場面の気持ちの変化を読みましよう。</p>